

中小企業人材確保セミナー

若者の心を掴む採用活動 を開催しました

- ・中央・城北職業能力開発センターでは、中小企業の人材確保を支援するため、令和5年度の採用活動に向けて、「中小企業人材確保セミナー」を開催いたしました。
- ・本年度は、令和5年3月3日（金）に開催し、来場10名、また、オンライン（Zoom ウェビナー）47名の計57名の方にご参加いただきました。
- ・講師に株式会社さんぼう 入江 剛 氏をお招きし、学生の声や学校・保護者の希望、今どきの若者のシゴト観、リアルな就職活動の状況など彼らにあった採用活動についてご講演いただきました。

講師紹介

いりえ たかし

入江 剛 氏（株式会社さんぼう 教育マーケティングセンター学校広報支援チーム長）

都立高校をはじめ12都県の大学・専門学校・高校などを担当。主に高校内の進路指導関係の企画・提案・運営を進めるほか、労働局や市区町村と連携した企業の紹介事業の企画も行う。現在は学校広報支援チームの長を務める傍ら、高校において進路・就職講演を行っている。

セミナーのポイント

- 今の若者の生活に関する変化（家族の仲が良い、携帯端末の普及によるコミュニケーションの減少、コロナ禍の影響による外出機会の減少等）
- 若者（高校生と大学生との）動きの違いと変化
- 会社選びにおける若者の基準とは
- 高校の先生達の悩み（職業意識が低い、社会常識が足りない、自立心がない等）
- 高校の就職指導、大学の就職指導（高校生は、学校が中心となって挨拶・礼法指導や面接指導等を実施。大学生は、ネットで各自が選び行動する機会が増加。）
- 面接試験に際し、どんな意識で臨んでいるのか。（高校生、大学生）
- 若者（特に高校生）が求人票を見て考えている事（残業：予想外な事が苦手、休暇：余暇時間の重要視、通勤：移動に不安、始業時間：起きられるか不安、退職：重く受け取れない等）
- 対策のご提案（イメージをより沸かせる）（キャリアパスを示す、ホームページの見せ方、求職者に年齢の近い方も同席させる等）

セミナー風景



若者（特に高校生）が求人票を見て考えている事

1. 残業（予想外な事が苦手）
 2. 休暇（余暇の時間を重要視している）
 3. 通勤（移動に不安）
 4. 始業時間（朝起きれるか不安）
 5. 退職を重く受け取れない
 6. イメージがわからない
 7. コミュニケーションに自信がない
- ※給与の額は以前ほど気にしていないように感じます。

受講者のご感想

- ・若者の志向についてとても勉強になりました。
- ・若者（大卒、高卒）共に説明いただけたことが良かったです。苦手なことや不安なことが、自身の就活時代と違うことに驚きました。現在の若者と講師の方の就活時代の比較は、自分がその時代を知らないせいか比較値が大きすぎて共感を感じにくいと感じました。（私も車の運転ができることにあこがれを感じたことはありません。）できれば5～10年前、コロナ before と比較いただけると有難いです。
- ・新卒入社して1年目なので、求人・新卒の部分で自社のどこが強みになりうるのか分りかねていたもので、大変勉強になりました。またこのような機会を設けていただけると幸いです。
- ・分かりやすい説明をありがとうございました。
- ・特に高校の就職指導の先生等とコミュニケーションをとりたいと思います。
- ・この度は素晴らしいセミナーを開催いただきありがとうございました。
- ・高校生・大学生の違いや、それぞれの感覚の話をお伺いしたことにより、採用活動での伝え方のポイントがよりわかりやすくできそうです。また、当たり前ですが「ありがとう」をちゃんと周りの人が伝える事を忘れないように若手人材を確保していきたいと思えます。
- ・数字に基づく発言でなかった、冗長で長い、と感じました。

【セミナー事務局】

東京都立中央・城北職業能力開発センター 人材育成担当

〒112-0004 東京都文京区後楽1-9-5

TEL : 03-5800-2611

URL : <https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/vsdc/chuo/index.html>

